

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		部課コード	090500	2998-9146
事業コード	し尿処理施設運営管理事業	担当部課	資源循環推進課	
090508			グループ	施設整備
開始年度		平成 24 年度	終了年度	平成 年度

事業の概要	事業の種類別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例
	関連・類似事業	し尿収集運搬業務委託事業、浄化槽整備補助事業、下水道管渠布設事業(下水道整備課)			
	総合計画の体系	章 環境・自然	節 廃棄物の減量・資源の循環	基本方針	し尿の適正処理の維持
事業開始の背景	平成24年度に、所沢市単独公共下水道が荒川右岸流域下水道に接続替えになったことから、これまで所沢浄化センター内で処理を行っていたし尿及び浄化槽汚泥を単独で処理することが必要となった。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	公共下水道未整備区域等で発生するし尿及び浄化槽汚泥について、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に支障が生じないように、し尿処理施設にて適正に処理する。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	11,065 世帯
	し尿くみ取り世帯及び浄化槽世帯			平成 27 年度	11,082 世帯
事業の具体的な内容及び実施方法					
市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に支障が生じないよう、し尿くみ取り世帯及び浄化槽世帯から発生するし尿及び浄化槽汚泥を定期的に収集し、し尿処理施設(所沢市衛生センター)へ運搬・投入して、適正な処理を行う。また、し尿処理施設から生じる排水について、下水排除基準を遵守するように脱水希釈処理して下水道へ放流する。そのため、施設が十分に機能するように、定期的な修繕も含めて施設の維持管理等を行っていく。					

会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)	
予算現額		116,371		108,535		109,157	
決算(見込み含む)		105,380		103,492			
(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
正規職員人件費		1.24 人	10,814	1.24 人	10,738		
事業費合計		116,194		114,230			
財源内訳	一般財源	116,194		114,230		109,157	
	国・県支出金	0		0			
	その他()	0		0			

実績	項目名	項目説明	単位	H 26				H 27		H28見込み		将来目標
				目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績			
活動実績	し尿及び浄化槽汚泥処理量	年間のし尿及び浄化槽汚泥処理量(延べ)	kg	16,823,020		17,511,620		16,844,050				

成果	項目名	項目説明	単位	H 26		H 27		H28目標値	将来目標
				目標値	実績	目標値	実績		
				成果指標	し尿処理施設稼働日数	年間のし尿処理施設の稼働日数(延べ)	日	244	246
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	101	100	どちらかをチェックしてください		

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	専門的な技術者確保のため、3年間の複数年契約を実施した。脱臭施設において、スケールの析出を防止するため、スケール防止剤の設備を導入した。	-

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方向性の	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	し尿及び浄化槽汚泥の処理は市町村の義務であり、引き続き安定した当該処理業務を行っていく必要がある。
		次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	引き続き、適正運転を行っていくうえで、計画的及び突発的な機械設備等の更新や修繕が必要となる。	
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性		
備	当市の重要プロジェクトの一つであるCOOL JAPAN FOREST構想で目指す街づくりの一環として、衛生センター用地の一部を遊歩道用地とすることにより、地域の安全性や利便性の向上を図るため、当該施設の受水槽・井戸等の移設といった改修が必要となることから、衛生センター改修事業を進めているところです。			公共下水道の整備により、し尿くみ取り世帯数及び浄化槽世帯数は減少傾向になると考えられるものの、市町村の処理義務を果たすため、引き続き安定した施設の維持管理業務を行っていく。		
評価日	H28.8.5	評価者職氏名	資源循環推進課 主幹 森澤 律昭			

環境影響	有益な環境影響	4-2水質汚濁の防止	有害な環境影響を及ぼす原因活動	廃棄物の適正処理、車両の出入り	規制を受ける環境法令等	有
					緊急事態	有